

経済的視点からの検証

# Red Hat Ansible Automation Platform と DIY 自動化の経済的利点

チーム間コラボレーションを標準化する手段を提供することで、市場投入までの時間を短縮し、運用の複雑さを軽減し、リスクを軽減します

Enterprise Strategy Group、プラクティスディレクター兼主席経済的検証アナリスト、アビブ・カウフマン氏

2023年6月

# 目次

|  |           |
|--|-----------|
| はじめに .....   | 3         |
| 課題 .....   | 3         |
| ソリューション：Red Hat Ansible Automation Platform .....  | 4         |
| <b>Enterprise Strategy Group の経済的視点からの検証 .....</b> | <b>5</b>  |
| Ansible Automation Platform 経済概要 .....             | 5         |
| 自動化機能導入までの時間を短縮 .....                              | 6         |
| 運用の複雑さを削減 .....                                    | 7         |
| 組織のリスクを軽減 .....                                    | 8         |
| Enterprise Strategy Group の分析 .....                | 9         |
| 考慮すべき問題 .....                                      | 12        |
| <b>結論 .....</b>                                    | <b>12</b> |

## はじめに

TechTarget の Enterprise Strategy Group (ESG) によるこの「経済的視点からの検証」では、スクリプト、オープンソース、ポイントソリューションによる自動化を使用する代わりに、Red Hat Ansible Automation Platform を使用して技術の自動化を作成、共有、管理、実行することで組織が期待できる定量的および定性的な利点に焦点を当てました。

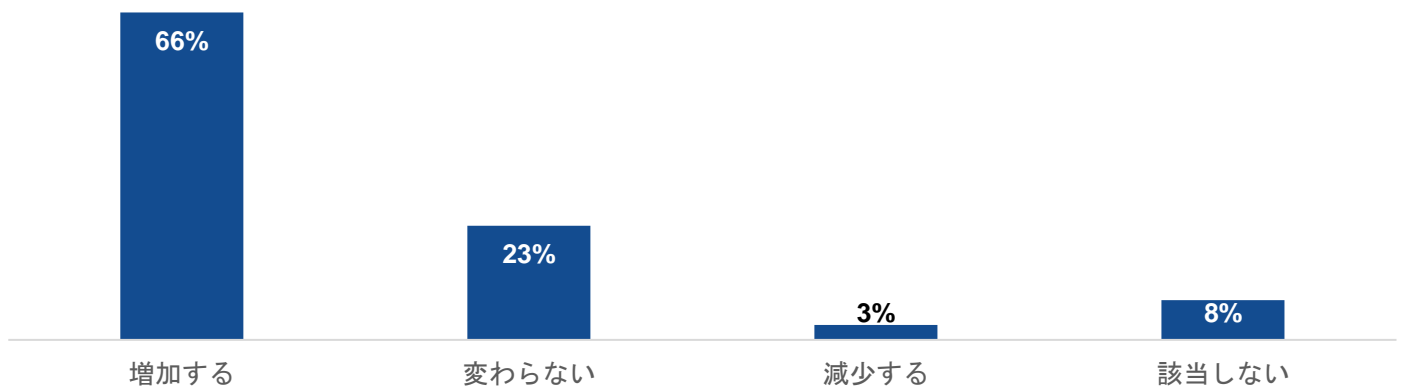
### 課題

今日のモダンなビジネスニーズに対応するために、IT 組織はより機敏に業務を行い、これまで以上に迅速にイノベーションを行う必要があります。IT チームは、企業とその顧客双方の増大し変化するニーズをサポートするために、これまでよりも迅速にインフラストラクチャとサービスを提供する必要があります。IT チームは、増え続ける役割、チーム、ユースケースに対応したシンプルなソリューションを提供するために、柔軟性を高める必要があります。しかし、このような柔軟性とシンプルさをエンドユーザーに提供することで、IT 環境の複雑さが増しています。モダンな IT 組織は、コンピューティング、ネットワーク、ストレージのインフラストラクチャを管理するだけでなく、さまざまな場所に対応し、物理、仮想、クラウド、エッジの各プラットフォームの可用性、セキュリティ、コンプライアンスを確保する必要があります。

大規模な IT 組織は時間とともに成長しており、専門的でサイロ化された多数のチームで構成されていることが多く、それぞれが異なるソリューション、ツール、プロセスに依存しています。これにより、運用の非効率性が高まり、イノベーションが妨げられ、脆弱性やダウンタイムのリスクが増大します。スクリプトを使用すると、この一部は改善できますが、その有用性には限界があり、多くの場合は、専門家がスクリプトの再利用性や拡張性を制限して作成および保守しています。このスキル不足の問題により、大規模な組織でツールを標準化し統合することは困難になっています。チームをまとめるために構築された自動化は、運用の迅速化、ワークフローでタスクが実行されるのを待つ時間の排除、ミスリスク軽減、反復可能なタスクを実行する専門家への依存の軽減に大きく役立ちます。TechTarget 社の調査によると、IT 自動化は組織にとって最優先事項であり、組織の 3 分の 2 (66%) が 2023 年に自動化の使用を増やす計画であると報告しています。<sup>1</sup>

図 1. 自動化の使用の増加

今後 12 ヶ月間で、組織の自動化の使用がどのように変化すると予想していますか？ (回答者の割合、N=1,783)



出典：TechTarget, Inc.

<sup>1</sup> 出典：TechTarget, [2023 IT Priorities Study](#), April 2023.

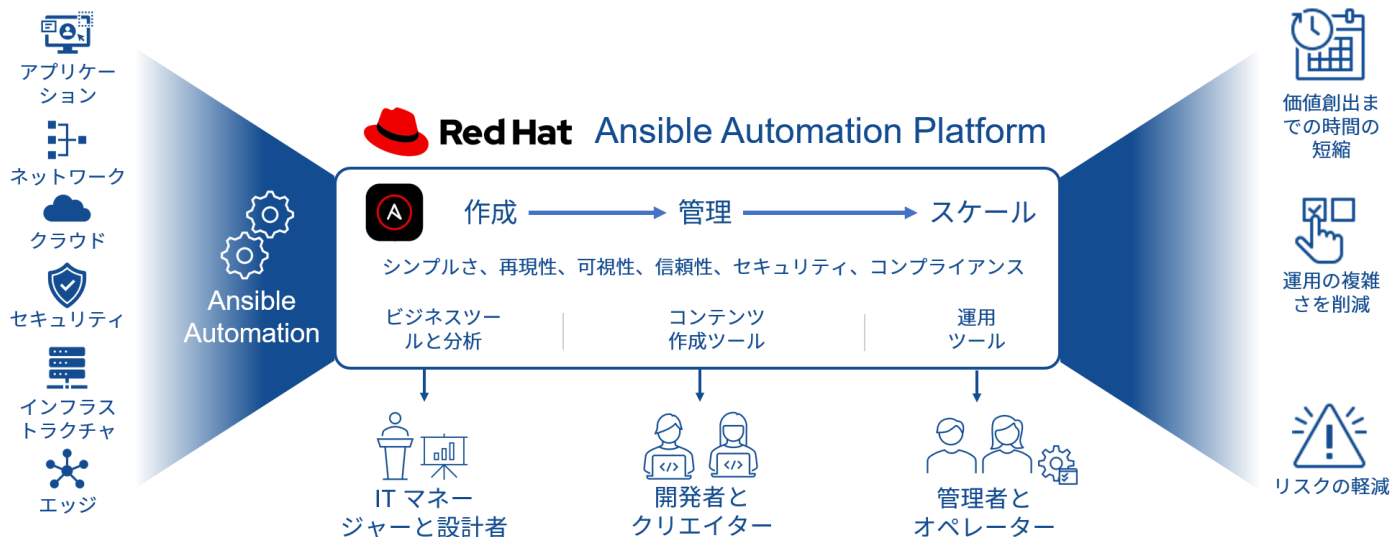
自動化は多くの組織にとって戦略的に不可欠なものであるため、組織のさまざまな部門が、自分で作成できる (DIY) スクリプト、オープンソースの自動化ツール、ベンダーが提供する独自の自動化ユーティリティ、ポイント管理ソリューションなど、自由に使用できるあらゆるツールを使って自動化を推進しています。しかし、使用するツールの数が多すぎると複雑さが増し、コストの増加、リスクの増大、組織全体での自動化の使用の減少につながる可能性があります。組織全体で自動化を成功させるには、障壁と非効率性を解消するための戦略と、チーム内およびチーム間で簡単に作成、標準化、共有、再利用、保守できる、統合された拡張可能な自動化プラットフォームを組み合わせることが必要です。

## ソリューション：Red Hat Ansible Automation Platform

Ansible Automation Platform は、Red Hat の自動化スイート全体を統合し、大規模な自動化の構築と運用のための単一のエンタープライズプラットフォームを提供する、シンプルで強力なエージェントレスのサブスクリプションベースのソリューションです。このプラットフォームでは、コンテンツの作成、共有、評価、管理を容易にするシンプルな自動化言語により、チームの関与と統合が容易になります。Ansible Automation Platform は、標準化された自動化により、組織全体で大規模な運用と制御が容易であり、より多くのチーム、機能、場所、ドメインに自動化をもたらします。Ansible Automation Platform は、次の要素で構成されています。

- **自動化コントローラ**は、制御プレーンと集中型ユーザーインターフェイス (UI) および RESTful API、ロールベースのアクセス制御、ワークフロー、統合された継続的インテグレーション/継続的デリバリー (CI/CD) を提供します。自動化コントローラは、自動化の導入、開始、委任、および監査方法の標準化に役立ちます。
  - **自動化実行環境**は、Ansible プレイブックとロールの使用を簡単に実行し、拡張できるコンテナとしてパッケージ化された、一貫性のあるポータブル環境です。
  - **自動化メッシュ**では、アーキテクチャの根本的な複雑さを理解しなくても、組織全体や場所を問わず、自動化の使用を拡張および拡大することができます。
- **Ansible コンテンツツール**は、開発者やオペレータが CLI を使用してコンテナ化された自動化実行環境 (**実行環境ビルダー**) や自動化 (**自動化コンテンツナビゲーター**) を **Ansible-lint** とともに簡単に構築し、展開できるようにします。これにより、コードの一貫性と保守性を向上させるためのベストプラクティスが保証されます。
- **認定および検証済みのコンテンツコレクション**により、クリエイターは、自動化を Red Hat や業界パートナーのプラットフォームと統合し、主要な運用タスクの実行を簡素化するビルディングブロックを使用して、簡単に自動化を開始できます。コレクションには、モジュール、プラグイン、ロール、プレイブック、ドキュメントなどを含めることができます。
- **自動化ハブ**では、Red Hat とその技術パートナーが作成したコンテンツを簡単に検出、使用、拡張するための、簡単にアクセスできるリポジトリが提供され、リスクを軽減し、自動化までの時間を最小限に抑えるのに役立ちます。
- **Red Hat Insights for Ansible Automation Platform と自動化分析**は、クラスタ全体のダッシュボードを使用して Ansible マネージドインフラストラクチャを可視化し、自動化の価値を監視し、定量化します。また、組織は自動化 ROI を計画し、測定することもできます。

図 2. Ansible Automation Platform



出典：Enterprise Strategy Group, a division of TechTarget, Inc.

## Enterprise Strategy Group の経済的視点からの検証

Enterprise Strategy Group (ESG) は、Ansible Automation Platform の定量的な経済分析を完了しました。ESG の経済性評価プロセスは、製品やソリューションの経済的バリュープロポジションの把握、検証、数値化、モデル化に定評のある手法です。このプロセスでは、ESG の市場/業界分析、将来に関する調査、技術的/経済的検証におけるコアコンピテンシーを活用します。ESG はエンドユーザーから詳細な聞き取り調査を実施し、Ansible Automation Platform が組織にどのような影響を与えたか、特に、過去に導入済みのソリューションや使用経験のあるソリューションと比較して、より詳細に把握して数値化しました。これには、ベンダーが提供した自動化ツール、オープンソースの自動化ツールとプラットフォーム、開発者が作成したスクリプトが含まれます。ESG が話を伺ったお客様は、Ansible Automation Platform を使用して、IT 環境全体で自動化機能を構築し、サービスに自動化を組み込んでいる組織でした。定性分析と定量分析結果は、Ansible Automation Platform を使って自動化機能を拡張、管理、および保守する場合のコストと利点を比較する、シンプルな経済モデルの基盤として使用されました。

### Ansible Automation Platform 経済概要

Enterprise Strategy Group の経済的視点からの検証により、Ansible Automation Platform は、次のカテゴリで大幅なコスト削減と利点をお客様に提供していることが明らかになりました。

- 自動化機能導入までの時間を短縮
- 運用の複雑さを削減
- 組織のリスクを軽減

## 自動化機能導入までの時間を短縮

スクリプト作成の経験があるどの管理者でも、手動タスクのシンプルな 1:1 自動化を簡単に実現できますが、組織全体で調整された部門間協力的な自動化機能を構築するには、時間と計画、および上級管理職の支援が必要です。組織が計画を策定する際には、自動化の取り組みを妨げることが多い個人的および部門的な障害を排除することで自動化チームを強化し、成功するプラットフォーム、ツール、プロセスを検討する必要があります。Ansible Automation Platform は、組織が自動化をより迅速に導入して実行し、社内全体で自動化の使用を迅速に拡大できるよう支援する、統合されたソリューション、ツール、プロセスを提供しました。これには次のような利点があります。

- **自動化導入までの時間の短縮** – お客様から、Ansible Automation Platform の導入は迅速で簡単であったと報告がありました。開発者は、Red Hat のトレーニング、ワークショップ、資料を活用して、数週間で Ansible を学ぶことができました。小規模な自動化チームは、Red Hat カスタマーポータルで取得した RPM から、および簡素化された OpenShift インストールにより、制御プレーンと実行プレーンコンポーネントを迅速に導入できました。導入時間の大部分は社内の賛同と部門間協力的に費やされていましたが、チームは組織全体で部門間協力的な自動化機能をわずか数ヶ月で稼働させることができました。組織に伝達できる統合されたプラットフォーム、ツール、コンテンツ、サポート、ビジョンがなければ、自動化機能を構築するのに 1 年または 2 年必要だったでしょう。「**自動化管理者には社内の支援と、他のグループから必要なものにアクセスする権限が与えられていて、解決に数ヵ月かかる障害にも直面しなかったのは幸運でした**」
- **組織全体での自動化の使用拡大** - お客様から、開発者が最初の自動化機能を作成して既存のシステムと統合するのが非常に迅速であり、この良い経験が、自動化の普及にプラスの影響を与えたと報告がありました。プラットフォームとツールの簡素化、セルフサービスポータルの可用性、再利用可能なプレイブックとモジュールにより、組織内の他のグループが新しい自動化機能を簡単に作成し、全社的な自動化作業に投資できるようになりました。
- **部門間協力的なコラボレーションまでの時間の短縮** - Ansible Automation Platform は、マネージャー、開発者、オペレータ、設計者、セキュリティチームなど、部門間協力的なチームをまとめるのに役立つ単一の統合された技術、ツール、言語、プロセスを提供しました。これらの部門間協力的なチームは、自動化の取り組みに関してオープンに協力し、要件をよりよく理解し、信頼を構築することができました。これにより、障壁やサイロ化が取り除かれ、最終的にはより効果的で広範で標準化された自動化の使用が可能になりました。また、外部のオープンソースコミュニティにより誰もが自動化をより成功に導くことができるため、一部の組織はさらに多くのことを学び、このコラボレーション精神を拡張することができました。
- **規模に応じた自動化導入までの時間の短縮** - Ansible Automation Platform は規模に応じて作られています。さまざまなグループ、場所、技術を超えてガバナンス、可用性、セキュリティを確保しながら、機能をより迅速に拡張できたと、組織は報告しています。自動化を CI/CD フレームワークに組み込むことができ、自動化メッシュフレームワークで実行されるコンテナ化された自動化実行環境により、組織はデータセンター、クラウド、エッジの場所全体で自動化機能を容易に拡張できました。組織は、ハイブリッドおよびマルチクラウド

**「Ansible Automation Platform は、経験がなかったために自動化の使用に不安を感じていた人々を参加させるのに役立ちました。非常にシンプルで効果的であったため、開発者、システム管理者、マネージャーなどがすぐにディスカッションに参加するようになりました」**

**「自動化が進むほど、より多くの機能が構築され、より簡単に自動化できるようになります」**

戦略をより適切に実行し、新しい地理的およびエッジ的な場所に迅速に拡張し、新たな合併や買収のために IT 運用を標準化するための作業を重複させることなく、自動化を迅速に拡張できました。

## 運用の複雑さを削減

Ansible Automation Platform は、単一のプラットフォーム、シンプルで効果的なツール、自動化中心の IT サービスを提供することで、組織全体の運用の複雑さを軽減するのに役立ちました。これにより、開発者や自動化チームは自動化の作成や保守に費やす時間を短縮でき、管理者や設計者は場所やインフラストラクチャ全体の自動化の管理、運用、拡張に費やす時間を短縮できました。また、IT マネージャーや設計者には、より良い意思決定を行い、ビジネスをより俊敏かつ柔軟に運営するための知見も提供されました。お客様から、以下の利点を通じて、Ansible Automation Platform が運用の複雑さを軽減するのに役立ったと報告されています。

- **自動化の作成にかかる時間の短縮** – Ansible Automation Platform と開発者ツールにより、スクリプトを作成したりオープンソースの自動化を使用したりするよりも、自動化の作成とテストがはるかに簡単になったとお客様から報告されています。Ansible Core は、簡単な YAML 構文に基づいています。この構文は、プレイブックの開発、テスト、および実行を行うための CLI ツールを使用して簡単に学習できます。プレイブックには、あらゆるインフラストラクチャでも実行できるように自動化をまとめるために必要なプレイ、モジュール、プラグインが含まれていました。Ansible 固有のリンターである Ansible-lint は、構文エラーの削減に役立ちます。ロールとコレクションを定義して自動化を再利用可能にしたり、パブリックおよびプライベートの自動化ハブが信頼できるコンテンツコレクション、ドキュメント、サンプルを提供したりすることで、組織が自動化をゼロから作成する必要をなくし、かかる時間をさらに短縮したりすることができました。Ansible Builder によって、プレイブックとペアリングして他のチームと共有できるコンテナ化された実行環境を簡単に構築できました。お客様から、これまでは作成に数週間から数か月かかっていた自動化（ディスカッション、会議、情報の要求を含む）が、数日で完了することも、場合によってはわずか数時間で完了することもできたと報告がありました。
- **自動化コンテンツの保守に費やす時間の短縮** – Ansible Automation Platform での自動化コンテンツの保守も、組織にとってははるかに簡単でした。自動化プレイブック、ロール、実行環境の変更が、コレクション内で非常に迅速に行い、更新することができました。お客様から、状況が変わったときに作成したスクリプトを専門家が保守する必要があり、以前依存していたオープンソースの自動化は、新しいバージョンがリリースされるたびに消去して再作成する必要があり、また、どちらの場合も、オープンソースコミュニティ外のサポートは提供されなかったと報告がありました。お客様は、Ansible Automation Platform なしで自動化を作成および保守するには、少なくとも 2 倍の規模のチームが必要になると判断しました。
- **組織全体の自動化の管理とサポートに費やす時間の短縮** - アーキテクチャチームと運用チームによる自動化の実行と管理が、Ansible Automation Platform によって、はるかに効率的になりました。自動化コントローラにより、自動化ジョブや実行環境の管理が容易になり（UI、CLI、API を使用）、企業全体で自動化作業を定義、文書化、委任、運用するために必要な労力を削減できました。運用チームは、再利用可能なジョブテンプレートを導入し、自動化ジョブを安全に実行できました。ロールベースのアクセスで、資格情報を公開する必要はありませんでした。ビジネスチームは、Red Hat Insights for Ansible Automation を使用することができ、自動化分析により、プラットフォームの使用状況を追跡、分析、改善し、ROI を計算して正当化するために必要なデータが提供されました。私たちがインタビューした人々が活用していた以前の自動化ツールは、部門協力的機能や可視性を提供しておらず、専門家が独自に実行および管理する必要がありました。

**「Ansible で作成できる自動化は、以前の自動化ツールでは 3 倍の時間かかっていました。現在は、自動化を構築しながら、先を見据えて、他の人が時間と労力を節約するためにタスクとロールを再利用できる場所を考えています」**

- **自動化作業のスケーリングに費やす時間の短縮** –

Ansible Automation Platform により、ローカルで、またハイブリッドとエッジの場所全体で、チームの自動化のスケーリングがはるかに簡単になります。自動化メッシュは、根底にある複雑さを理解しなくても、自動化の使用を拡張できます。コンテナ化された実行ノードは、自動化コントローラにアクセスできないリモート環境やセグメント化された環境で自動化プレイブックをオフロードして実行するためのローカライズされた機能を提供します。これにより、運用チームと自動化チームの負担が軽減され、複雑な環境での自動化機能の継続的なトラブルシューティングとサポートが可能になり、多様なツールを使用して構築された自動化によるサイロ化が継続する可能性が低減されます。

「以前は、すべての部門が、それぞれの役割に最適に機能する最善の自動化ツールを自由に選択できていました。当時、これは良いことのように思え、手動作業のスピードアップにつながりましたが、組織にとって大きな勝利にはなりませんでした。なぜなら、すべてがまだシリアル化されていて、リクエストに対応する専門家が必要だったからです」

- **柔軟性と俊敏性の向上** – 組織全体のより多くの場所と機能に自動化機能を提供することで、Ansible Automation Platform により、IT チームは少ないリソースでより多くのことを実行できるようになり、ビジネスをより適切にサポートするために必要な柔軟性と俊敏性を提供できました。私たちが話を伺った会社は、シリアル化された発券システムに依存していましたが、ビジネス向けの新しい IT サービスが必要な承認やサイロ化されシリアル化された操作を完了するまでに数週間かかることがあったと述べました。Ansible Automation Platform では、これらのサービスの要求はセルフサービスポータルを介して行われ、リソースは 1 時間未満で提供されました（承認を含む）。組織のさまざまな側面でこのような効率性を促進することは、リソースの解放と収益への影響の両方の観点から、収益に大きなプラスの影響を与える可能性があります。

## 組織のリスクを軽減

Ansible Automation Platform は、ダウンタイムのリスクを最小限に抑える機能と、既存のセキュリティ運用に準拠し適切に統合する機能を提供することで、オープンソースの自動化を使用する場合と比較して、組織のリスクを軽減するのに役立ちました。これには次のような利点があります。

- **ダウンタイムのリスクの軽減** – Ansible Automation Platform は、技術パートナーとの信頼できる認定された統合と、経験豊富な開発者や設計者によって作成された、再利用可能なコンポーネントを提供するコンテンツコレクションを組織に提供しました。これにより、ある組織では、ダウンタイムが発生する可能性のある手動エラーのリスクを 70% 近く軽減できました。自動化コントローラと自動化メッシュに組み込まれたインテリジェンスは、システムの健全性チェックを実行し、メッシュトポロジに冗長性と可視性を提供することで、ダウンタイムの原因となる可能性のあるインフラストラクチャの問題を軽減できます。また、Ansible は、IT サービス管理 (ITSM) システムと統合して、将来のダウンタイムにつながる可能性のある問題のアラート、ログの共有、迅速な解決を支援することもできました。
- **サイバー攻撃のリスクを軽減** – 別の自動化ツールやスクリプトを使用すると、機密性の高いシステム情報、アカウント、および資格情報が漏洩する可能性があります。Ansible Automation プラットフォームは、Ansible ノード間の安全な双方向通信を活用し、資格情報を公開しない組み込み資格情報管理システムにより、アカウントやパスワードが盗まれるリスクを軽減します。Ansible ログを SOAR と統合することで、調査を迅速化し、承認機能を採用することで、部外者がアクセスしたり、システムに不正な変更を加えたりする可能性を阻止することができます。

「Ansible の自動化を使用して、セキュリティと可用性のチェックを自動化し、セキュリティと構成の設定を 24 時間ごとに元の状態に戻すことができました。そのため、誰かが介入して何かを変更したとしても、自動化によって必要な状態にすぐに戻されます」



## Enterprise Strategy Group の分析

Enterprise Strategy Group (ESG) は、ベンダー提供の資料、経済性と技術に関する一般および業界の知識、顧客インタビューの結果から得た情報を活用し、5年間のTCO/ROIを示すモデルを作成しました。このモデルでは、Ansible Automation Platform を使用して大規模な分散型組織全体で自動化機能を構築し、拡張する場合と、オープンソースの自動化ツールとポイント自動化ソリューションを使用したDIYアプローチの場合のコストと利点を比較します。最近 Ansible Automation Platform を使用して自動化機能を構築したお客様に対する ESG のインタビューは、自動化ソリューションの経済モデリングと技術的検証における経験と専門知識を組み合わせ、モデル化されたシナリオの基礎を形成するのに役立ちました。

このモデルでは、世界の5つの地域に28,000人の従業員を抱える大規模な組織を想定しました。組織は、コンピューティング、ネットワーク、およびセキュリティの運用を担当するために104人のフルタイム相当 (FTE) で構成されていると想定しました。8人体制のストレージチームと706人のIT総合職従事者が、従業員や事業部門にオンサイトおよびリモートのITサービスを提供することを任務としていました。

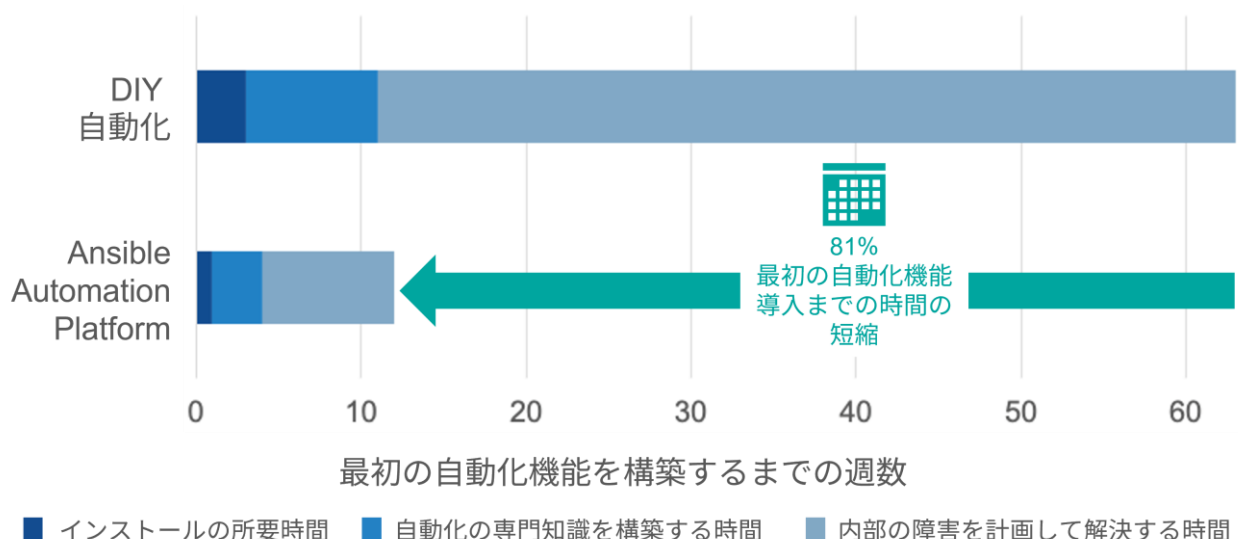
最初に、自動化サーバー、ソフトウェア、プラットフォームのインストールと導入にかかる時間を含めて、最初の自動化機能を構築する時間をモデル化し (Ansible Automation Platform の場合は1週間、DIY の場合は3週間。これは、簡単なRPMインストールと複数のツールの手動セットアップの違いによるものです)、自動化に関する専門知識を構築する時間をモデル化し (Ansible Automation Platform の場合は3週間、DIY の場合は8週間。これは、改善されたドキュメントやトレーニングとシンプルなYAML言語の違いによるものです)、社内の障害を解決することで、部門間協力的自動化機能を計画する時間をモデル化しました (Ansible Automation Platform の場合は8週間、DIY ベースの自動化の場合は52週間)。図3に示すように、Ansible Automation Platform の明確で統一されたビジョンと、簡素化されたインストールと学習曲線により、最初の自動化機能を構築するまでの時間が81%短縮されました。

### 重要な理由

IT自動化ツールは、オープンソースのイニシアチブを通じて自由に利用でき、多くの場合、ベンダーがソリューションの機能を自動化するために提供しています。しかし、これらのツールは専門家によって操作される必要があり、サポートが不足しており、複雑で、拡張と保守が困難です。

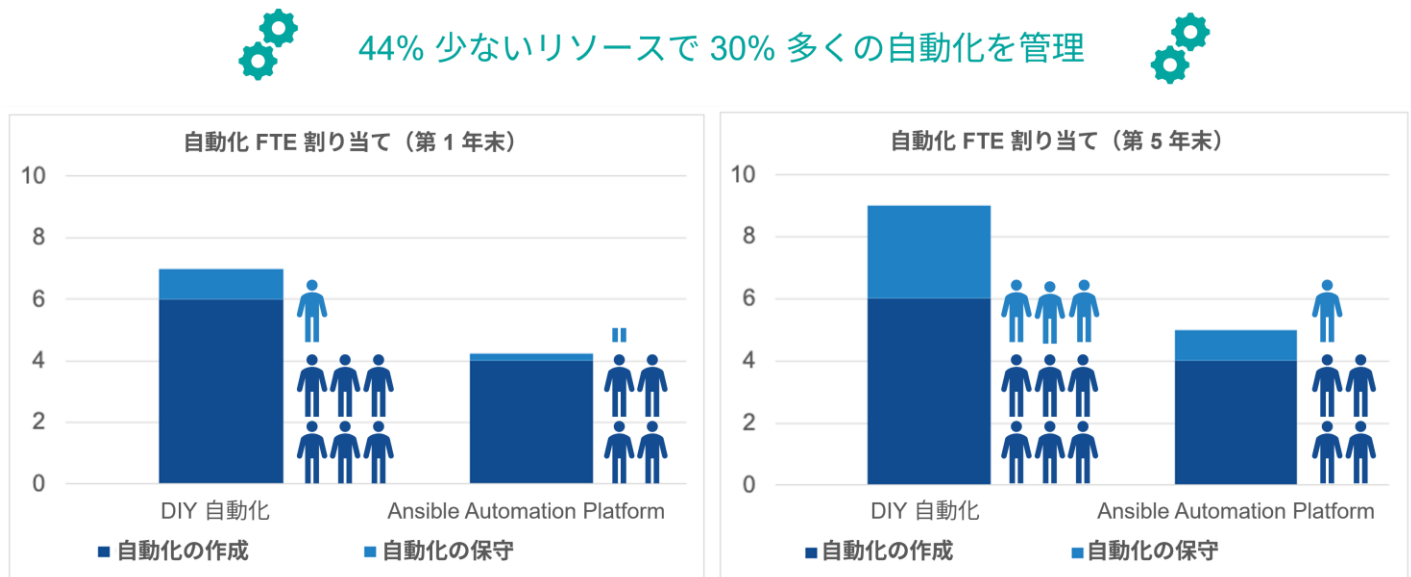
Enterprise Strategy Group の検証とモデルにより、Red Hat は組織全体で自動化の成功と効率化を促進する統合プラットフォームを提供し、結果として702%のROIを達成しています。

図3. 最初の自動化機能を構築するまでの時間



ESG は、Ansible Automation Platform の場合、最初の自動化のチーム規模を 4 人と想定しましたが、最初の自動化機能を構築するには 1.5 倍の 6 人からなるチームが必要でした。自動化コンテンツが作成されると、Ansible Automation Platform の既存の自動化を保守するのに既存のチームが必要とする時間はわずかのみですが、DIY の場合は、複雑さが増し、頻繁に変更が発生し、サポートやドキュメントが不足しているため、フルタイムの専用リソースが必要になります。私たちは、5 年目までには、Ansible Automation Platform チームが、既存の自動化を管理、保守、サポートする FTE を含むまでに成長し、DIY の場合を管理するためにさらに 2 人の FTE を追加する必要があると想定しました。図 4 に示すように、当社の自動化機能の計算（後で説明）を使用して、Ansible Automation Platform が 44% 少ないリソースで 30% 多くの自動化を管理できることを示しました。

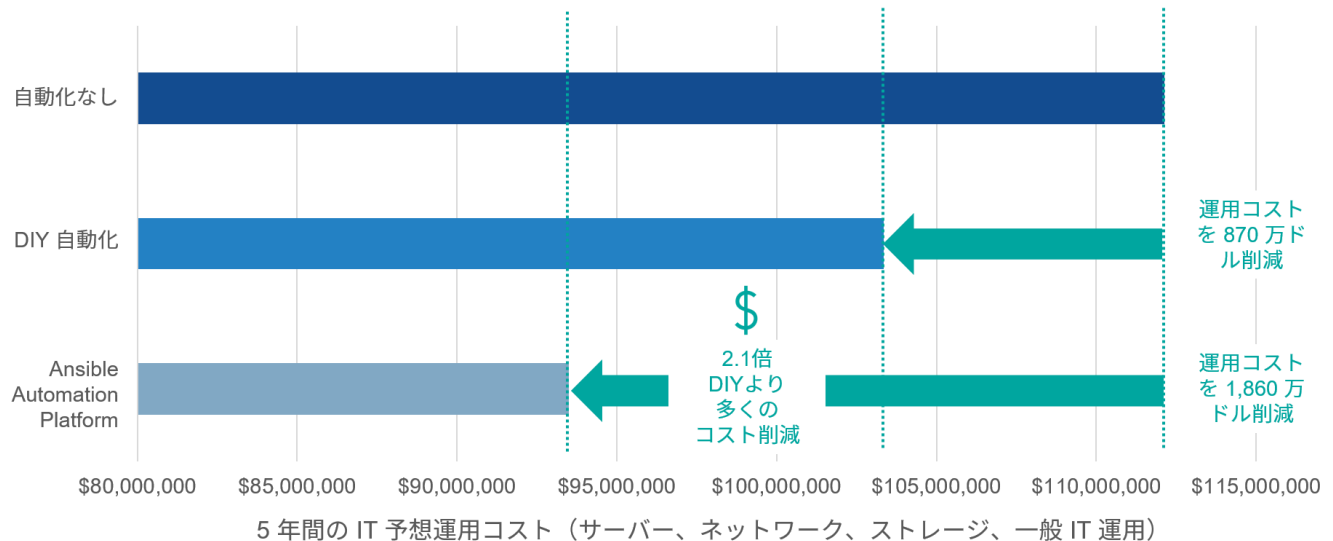
図 4. 自動化の作成、管理、および保守に必要な FTE の比較



出典：Enterprise Strategy Group, a division of TechTarget, Inc.

次に、ESG は、組織全体と拠点全体で、5 年間にわたる自動化機能の期待される成長をモデル化しました。Ansible Automation Platform を使用した場合、組織は年間 10% の新しい自動化機能を同じ割合ですべての拠点で自動化できると想定しましたが、DIY の場合、年間の新しい自動化機能の増加は、約半分の 5% の速度であり、すべての作業を新しい拠点ごとに繰り返す必要があります。これにより、2 番目の拠点で最初の機能が構築されるまでに最大 1 年間の遅れが生じます。このモデルを使用して、各年末までの自動化機能の増加に対する自動化可能機能の割合と、これらの自動化の期待される利点を考慮することで、全体的な運用コストの削減が予測されました。私たちのモデルでは、5 年以上にわたり、Ansible Automation Platform が自動化によって IT 運用作業を回避した場合、1,860 万ドルのコストを削減できると予測しました。これは、DIY 自動化によって実現できるコスト削減の 2 倍以上になります（図 5 を参照）。

図 5.IT 運用コストの削減

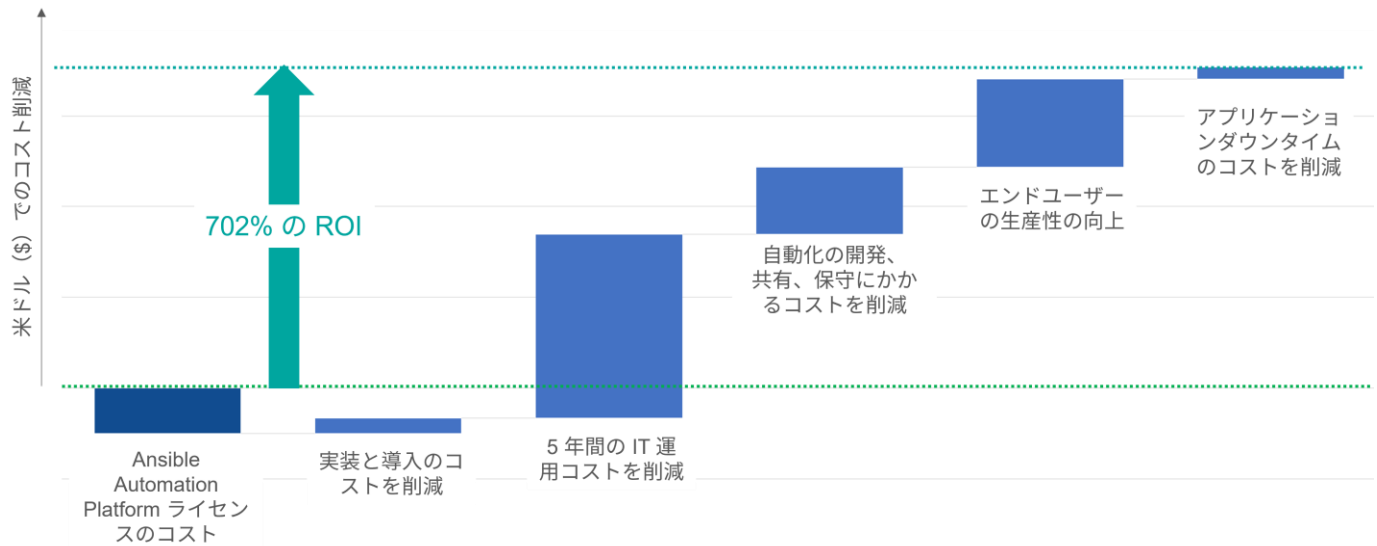


出典：Enterprise Strategy Group, a division of TechTarget, Inc.

ESG はまた、自動化によって、デバイスの問題やサービスの中断に影響を受ける時間を短縮することで、エンドユーザーの生産性を向上できると予測しました。ESG では、自動化により、発生する問題の数が（問題の減少、相互運用性の向上、定期的な健全性チェックなどにより）削減され、自動化されたアクションと改善されたワークフローを通じて、これらの問題の解決と修正にかかる時間を最小限に抑えることができると想定しました。当社のモデルは、DIY と Ansible Automation Platform の両方がエンドユーザーの生産性への予想される影響を低減できると予測しましたが、Ansible Automation Platform はエンドユーザーの生産性への影響を79%削減し、組織は5年間でDIYよりもさらに480万ドルのコスト削減を実現できました。同様のモデルでは、自動化によってアプリケーションのダウンタイムイベントの数が削減され、オペレーションを復旧するまでの時間を最小限に抑えることができると予測されました。当社のモデルでは、Ansible Automation Platform が、DIY 自動化によるコスト削減の期待額を超えて、さらに662,000ドルの収益への影響を削減できると予測しました。

ESG は、モデル化されたすべての予測を考慮して、オープンソースツールとポイント自動化ソリューションを中心に構築されたDIY自動化機能に依存するのではなく、Ansible Automation Platform で自動化することで予想ROIを計算しました。どちらの場合も自動化を行わない場合に比べて大幅にコスト削減できますが、当社のモデルでは、Ansible Automation Platform が、DIY 自動化で実現できない2,000万ドルを超える追加のコスト削減と利点を提供できると予測しています。5年間のプラットフォームの運用に必要なRed Hat ライセンスへの投資を考慮して、ESG は Ansible Automation Platform が5年間で702%のROIを提供できると計算しました（図6参照）。

図 6. Ansible Automation Platform の 5 年間の予想投資収益率 (ROI)



出典：Enterprise Strategy Group, a division of TechTarget, Inc.

## 考慮すべき問題

Enterprise Strategy Group (ESG) のモデルは、保守的で信頼性の高い検証済みの仮定に基づいて構築されていますが、単一のモデル化されたシナリオが、あらゆる潜在的な環境を表すことはありません。各組織には、克服しなければならない固有の課題と自動化によって達成できる機会があります。組織が受ける利点は、組織の規模、ビジネスの性質、IT 組織の現在の能力、特性、構成、さらに多くの不確定要素によって異なります。ESG では、使用可能な製品について独自の分析を実施し、Red Hat の担当者に相談して、独自の概念実証テストを実施し、ソリューションの違いを理解して話し合うことを推奨しています。

## 結論

IT 自動化は、モダンな IT 組織全体でますます重要な義務となっています。自動化により、IT の複雑さが軽減され、運用が高速化され、今日のモダンなビジネスの需要をより適切に満たす IT サービスを提供できるようになります。DIY 自動化の初期運用コストは、組織が最初に導入された時点では魅力的ですが、最終的には、さまざまなドメインとエンドポイントを持つ多くのチーム全体で自動化を運用するための総コストが、Ansible Automation Platform などの商用自動化プラットフォームに有利に働く転換点があります。エンタープライズ自動化プラットフォームは、複雑なワークフローを最上位レベルで調整しながら、特定のエンドポイントの特定のタスクを最下位のデバイスレベルで自動化できる必要があります。

Enterprise Strategy Group (ESG) は、Red Hat がプラットフォーム、ツール、サービスを提供して、組織が自動化を迅速に開始し、自動化の使用を組織全体に広め、技術を超えてチーム全体で自動化を標準化し、運用の複雑さやリスクを軽減し、より多くの技術や場所で自動化の使用を拡大できるようにしていることを検証しました。

モデル化されたシナリオでは、Ansible Automation Platform は、DIY 自動化機能の構築と比較して、5年間で 2,000 万ドルを超える追加のコスト削減と利益を実現できると予測しました。この分析では、Ansible Automation Platform への投資によって 702% の ROI が得られることも予測されています。組織が運用の複雑さと組織へのリスクを軽減しながら、IT 環境全体で自動化の利点を迅速かつ効果的に推進することに真剣に取り組んでいる場合、ESG は Ansible Automation Platform を検討することをお勧めします。

©TechTarget, Inc. or its subsidiaries. All rights reserved. TechTarget および TechTarget のロゴは、TechTarget, Inc.の商標または登録商標であり、世界中の司法管轄区で登録されています。BrightTALK、Xtelligent、および Enterprise Strategy Group などのその他の製品およびサービスの名称およびロゴは、TechTarget またはその子会社の商標である場合があります。その他すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します。

本書に記載されている情報は TechTarget が信頼できると見なして取得した情報ですが、TechTarget がその信頼性を保証するものではありません。本書には TechTarget の見解が含まれている場合があります、その内容は変更されることがあります。本書には、TechTarget が現在入手可能な情報に照らして想定している予測、予想、およびその他の予測に関する記述が含まれている場合があります。それらの予測は、業界のトレンドに基づいており、不確定要素や不確実性が含まれます。そのため、TechTarget は、本書に含まれる特定の予測、予想、予測に関する記述の正確性について一切保証しないものとします。


TechTarget の明示的な同意なく、ハードコピーや電子形態を問わず、本書の全体または一部を複製したり、受け取る権利のない人物に再配布することは、米国著作権法に違反する行為となり、民事上の損害訴訟とともに、該当する場合は刑事訴追の対象となる場合があります。ご不明な点は、お客様相談室 ([cr@esg-global.com](mailto:cr@esg-global.com)) までお問い合わせください。

---

#### Enterprise Strategy Group について

TechTarget の Enterprise Strategy Group は、対象となる実用的な市場情報、需要サイドの調査、アナリスト向けアドバイスサービス、GTM 戦略ガイダンス、ソリューション検証、エンタープライズ技術の購入と販売をサポートするカスタムコンテンツを提供します。

 [contact@esg-global.com](mailto:contact@esg-global.com)

 [www.esg-global.com](http://www.esg-global.com)